デマンド交通の導入が地域に与える影響に関する研究
ー岡山県赤磐市赤坂地域を対象としてー

交通まちづくり学研究室2024年度卒業研究　坂本柊人

研究背景

- 人口減少や少子高齢化の進展によって、**公共交通の利用者数や便数が減少**
- 高齢者をはじめ、**運転免許返納者が増加**
- 地方部の移動手段として、**鉄道やバスがあまり利用されていない**

不採算路線の廃止

公共交通ネットワークの縮小

地方部における移動手段としての公共交通の確保は重要な課題

しかし…

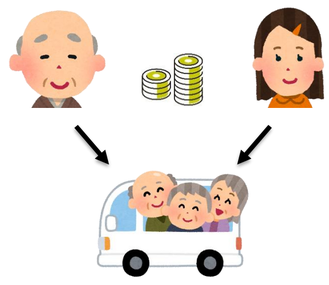
自治体が運営するデマンド交通の導入数が増加

利用者は必ずしも多くなく、収支状況が厳しいなどの課題

公共交通は地域住民の税金を利用して運営している

デマンド交通の導入に対して

非利用者も含めた評価が必要



本研究の目的

デマンド交通の導入に対して、デマンド交通の**総合価値に対する評価**や**必要だと思う人の属性**を明らかにする

調査の概要

＜調査対象＞

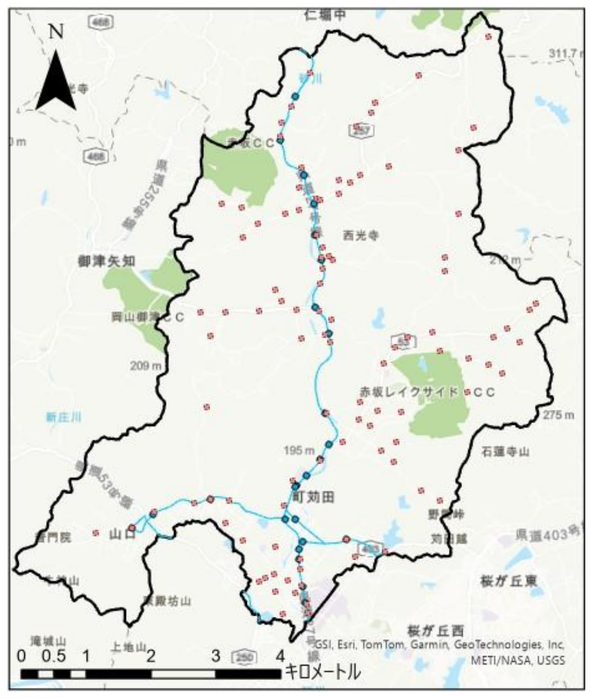
デマンド型市民バス

調査実施の直近1年以内に運行を開始

令和6年1月に運行を開始した岡山県赤磐市赤坂地域のデマンド交通

デマンド型市民バスのサービス内容

- 料金：1乗車あたり「一般」400円
- 平日の9時台～16時台に毎時1往復(合計8往復)運行する
- 1台の車に複数の人が乗り合わせる
- 乗降場所から目的地(商業施設など)に移動できる
- 移動範囲は赤坂地域内のみ



赤坂地域　デマンド型市民バス乗降場所　定時定路線バス停　定時定路線バスルート

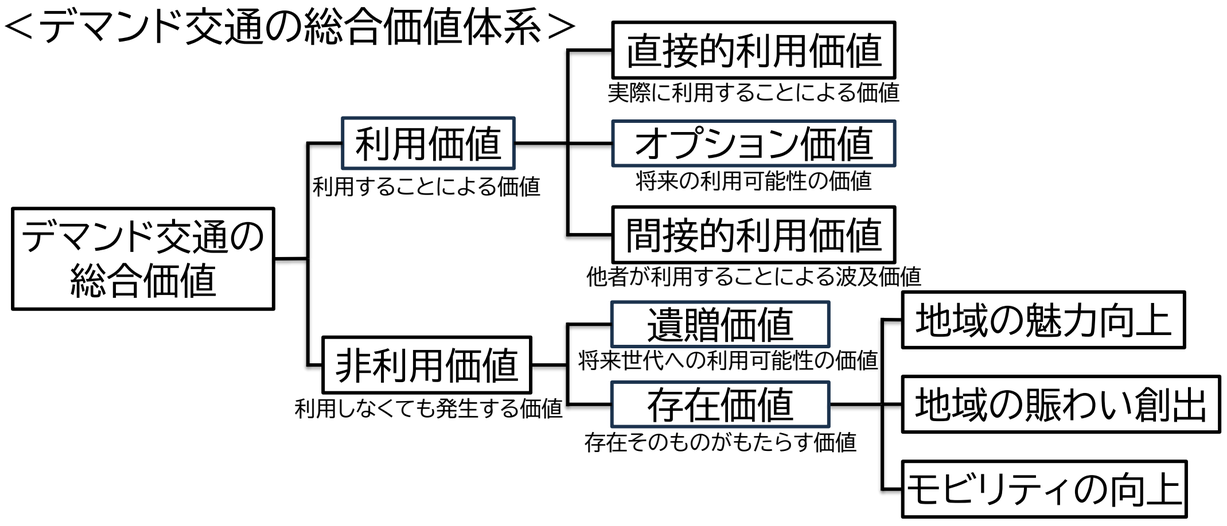
赤坂地域の公共交通マップ
（令和6年12月時点）

＜アンケート概要＞

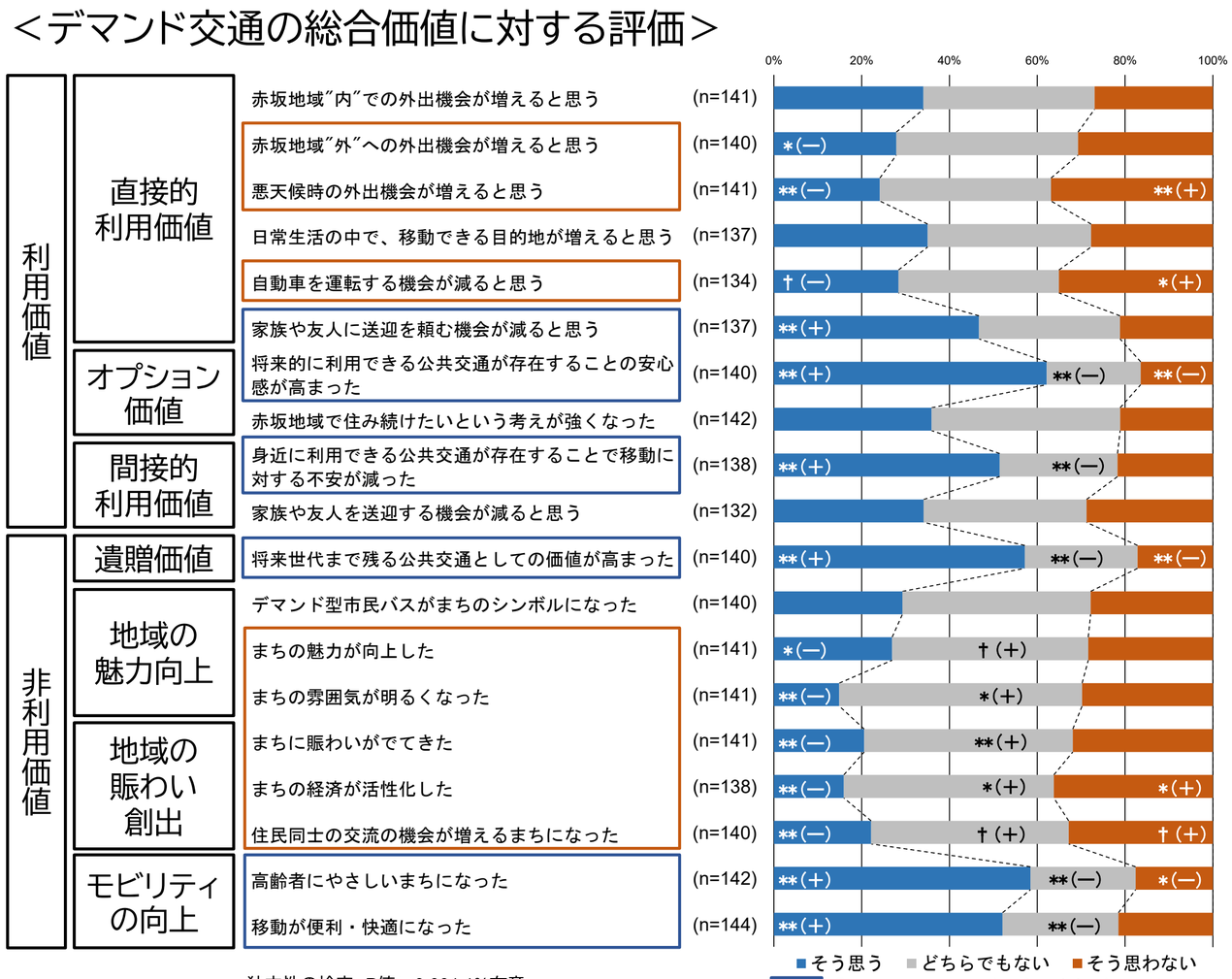
赤坂地域の公共交通に関する調査			
配付回収方法	2024年12月の赤磐市の広報誌に折り込み配付・郵送回収		
調査対象者	赤坂地域内の1540世帯		
調査期間	2024年12月13日～2025年1月31日		
配付数	1540世帯	有効回答件数	157世帯
主な調査項目	● 個人属性 ● 普段の外出手段 ● デマンド型市民バスのサービス・導入による変化		

デマンド交通の総合価値に対する評価

＜デマンド交通の総合価値体系＞



＜デマンド交通の総合価値に対する評価＞



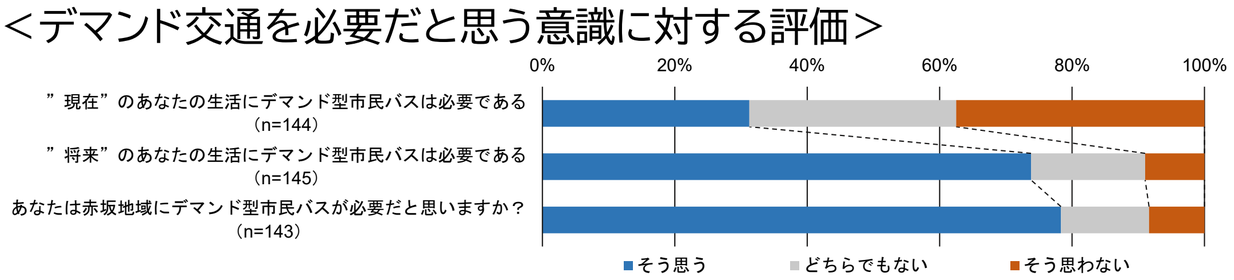
独立性の検定　P値:<0.001 1%有意
クロス集計の残差分析　**1%有意　*5%有意　†10%有意
(＋)割合が高い　(−)割合が低い

「そう思う」の割合が有意に高い
「そう思う」の割合が有意に低い

デマンド交通の**多様な価値が評価**されている

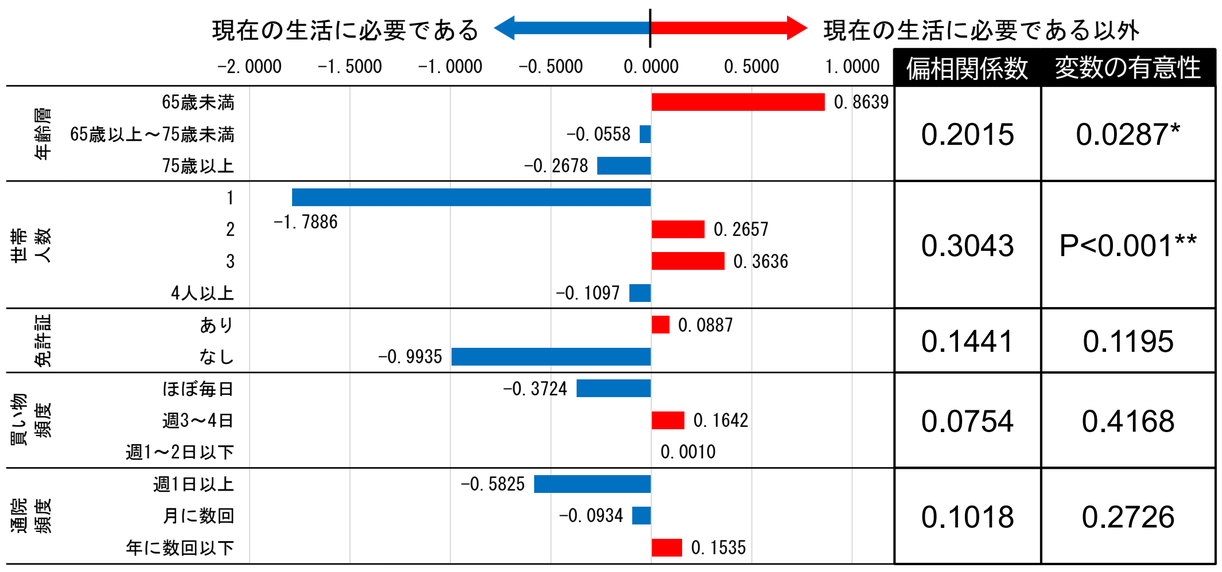
デマンド交通を必要だと思う人の属性

＜デマンド交通を必要だと思う意識に対する評価＞



現在の生活にデマンド交通が必要だと思う人 ⇨ **約30%**

将来の生活・地域にデマンド交通が必要だと思う人 ⇨ **約75%**



n	相関比	判別的中率	各群の中心	
122	0.2162	77.05%	必要: -0.7301	必要以外: 0.2937

＊：5%有意
**：1%有意

世帯人数 ▶ **年齢層** の順で現在の生活にデマンド交通が必要に影響

将来の生活・赤坂地域に必要と関連性が見られた属性は少ない ▶ **多様な属性の人が将来の生活・赤坂地域に必要**としていることを示唆

まとめ

◆デマンド交通の多様な価値が評価されていることが示された

◆現在の生活にデマンド交通が必要に影響する属性は、「世帯人数」>「年齢層」の順で影響が大きいことが示された

◆デマンド交通を多様な属性の人が将来の生活・赤坂地域に必要としていることが示唆された